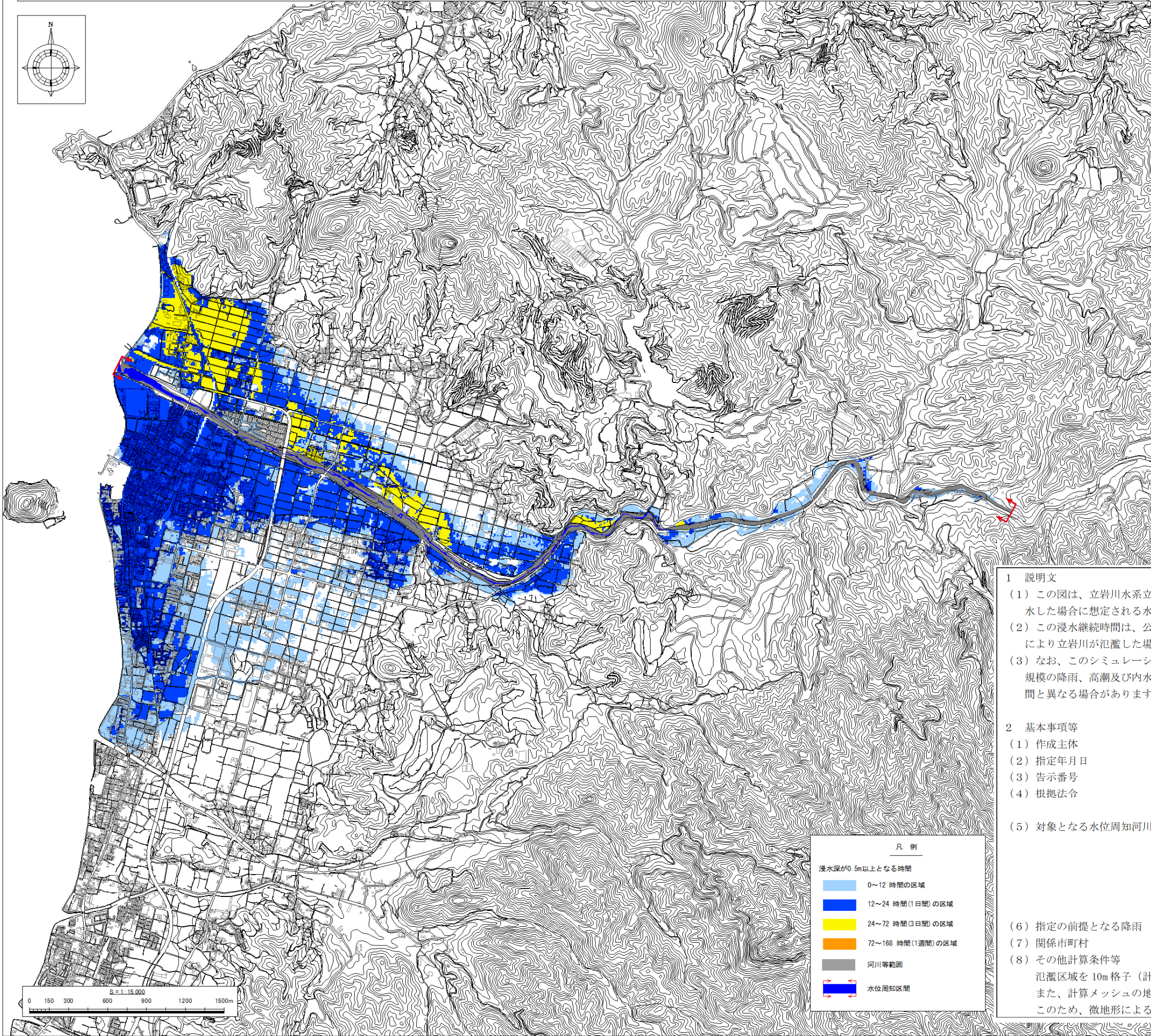
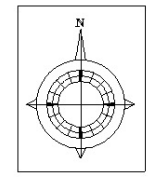
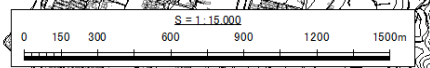


立岩川水系立岩川 洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 2JHs 138

凡例	
浸水深が0.5m以上となる時間	
	0~12 時間の区域
	12~24 時間(1日間)の区域
	24~72 時間(3日間)の区域
	72~168 時間(1週間)の区域
	河川等範囲
	水位周知区間



1 説明文

(1) この図は、立岩川水系立岩川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深が50cm以上となる区域の浸水継続時間を表示した図面です。

(2) この浸水継続時間は、公表時点の立岩川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により立岩川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	愛媛県
(2) 指定年月日	令和 2年 6月 5日
(3) 告示番号	愛媛県告示第639号
(4) 根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項 水防法施行規則(平成12年建設省令第44号)第2条第3号
(5) 対象となる水位周知河川	立岩川水系立岩川 (実施区間) 左岸: 松山市猿川甲877番4 地先から海まで 右岸: 松山市猿川甲932番1 地先から海まで
(6) 指定の前提となる降雨	立岩川流域の24時間の総雨量769mm
(7) 関係市町村	松山市
(8) その他計算条件等	氾濫区域を10m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表わされていない場合があります。